

「壬生町新庁舎世界時計寄贈除幕式」開催

日 時:令和4年5月6日(金) 10:00~10:30

場 所:壬生町役場 新庁舎(総合案内カウンター前)

参加者:壬生町3役、壬生ロータリークラブ会員、部課長職員

《小菅一弥壬生町長 挨拶》

本日は、壬生ロータリークラブ様のご臨席を賜りまして「世界時計除幕式」を開催させていただきます。壬生ロータリークラブ様には、これまで「少年善行賞表彰」、「論語検定料支援」更に各中学校への「ロータリー文庫図書寄贈」等、青少年健全育成にご尽力を頂きまして、心から感謝申し上げます。

さて、この度お披露目となる世界時計につきましては、新庁舎の内装工事の段階で、壬生クラブ様より寄贈の申し出があり、町としては、新庁舎の中で、一番目立つ場所である受付に設置させて頂くことになりました。

今後の学校教育で、オンラインを使用したネイティブな英語教育を目指す上でも子供達が役場に来て、世界時計を見ることは、励みになるのではないかと思います。世界で活躍できる人材を育成したいと思っております。

今後も壬生ロータリークラブ様と共に、未来を担う子供達のために活動をしていきたいと思っておりますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本日は、素晴らしい世界時計をご寄贈頂き、まことに有り難うございました。お礼の挨拶とさせていただきます。

《高山英城会長 挨拶》

壬生町新庁舎の開庁、誠におめでとうございます。日頃は、壬生ロータリークラブに格別のお引き立てをいただき、誠にありがたく存じます。

本日は新庁舎の開庁に合わせ、壬生ロータリークラブ創立40周年を記念し世界時計を寄贈させていただきます。

壬生ロータリークラブは1980年 昭和55年に22名の会員で発足いたしました。簡単にロータリークラブとはどのような団体かをお話しさせていただきますと、世界中の200か国以上の国や地域で35,500以上のクラブが存在し、約120万人の会員で構成されている国際的な組織で会員は職務における高い倫理基準をもって地域社会や職場、および世界で奉仕プログラムを実施しています。国際ロータリーは、1905年アメリカで誕生し、日本では1920年東京で誕生しました。

壬生町の歴史 旧壬生町が誕生したのが1889年(133年前) 合併し今の新しい壬生町になりましたのが1954年(68年前)。これまでの旧庁舎が建設されたのが1958年(64年前)。

これまでに、おもちゃ団地が創業、壬生町から世界の子供たちへ玩具が輸出され、独協医科大学の開学では海外からの留学生の受け入れや、学生の海外研修が行われ、産業用ロボットでは世界シェアトップのファナックが羽生田産業団地に進出されるなど、著しい発展を遂げてきました。また、この夏にはアメリカ・カナダを中心に世界で810店舗を展開しているグローバ

ル小売業のコストコがここ壬生町にオープンするなど、ますます発展する壬生町の象徴として新庁舎が開庁することは、一町民としても誠に喜ばしいことでございます。

壬生ロータリークラブでは新庁舎の開庁に合わせ、何かお役に立てることはないだろうか、設立時からの会員（チャーターメンバー）栗原・安楽会員を中心に、40周年事業委員会を立ち上げ、町長はじめ関係者の皆様と協議を重ね、国際的に発展する壬生町には世界時計が良いだろうということで、今回の寄贈となりました。

壬生町は日本全国に743ある町の中で、人口が多いランキングで21番目です。これからますます発展し、北関東の中心となり、やがては日本を代表する町に発展していくことを確信しております。本日はこのような除幕式を開催していただき心から感謝いたしております。



《除幕》



《記念撮影》

